

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|-----------------|------------|------------|
| 事業所番号 | 1293400014 | | |
| 法人名 | 有限会社 憩 | | |
| 事業所名 | グループホーム 憩 新棟 | | |
| 所在地 | 千葉県袖ヶ浦市横田1709-3 | | |
| 自己評価作成日 | 2015年10月20日 | 評価結果市町村受理日 | 平成28年3月10日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaigokensaku.jp/12/index.php |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | | | |
|-------|--------------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所 | | |
| 所在地 | 千葉県千葉市稲毛区園生1107-7 | | |
| 訪問調査日 | 2015年12月4日 | | |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

お天気の良い日には施設周囲を30分程掛けて歩いてくるコースがあります。殆ど車が通らないところで、安全が確保でき、安心して歩くことが出来ます。そこではご近所の方と気軽に会話できる関係もできております。又周囲は田畑に囲まれておりますので、のんびりとお花や季節の移り変わりを眺める事が出来る場所となっております。平成24年に開所した共用型認知症対応型通所介護(予防含む)も行っており、デイサービスを通して外部の方々との交流も図られて居ります。毎日14:00よりレクレーションの時間を設け、体操やカラオケを行い各機能の低下防止につなげております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは地域の一員として近隣住民と交流しており、挨拶や声かけが日常的に見られる。近隣住民は散歩コースに休憩用の椅子を用意してくれたり、季節の花々を差し入れてくれるなど、利用者を地域の一員として迎えてくれている。入所前に服用していた薬の量やおむつの使用などは、医師や家族と相談しながら削減に努め、残存能力の維持、向上に結び付けている。職員同士は常に笑顔を大切にしながら利用者の暮らしを支え、管理者は利用者のホームでの様子、受診の情報や準備して欲しい衣類など、毎月家族に手紙で伝えるなど、家族や地域とも協力しあい利用者を支えている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | | 項目 | | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | |
|----|--|-----------------------|---|----|---|-----------------------|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ | 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ | 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ | 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ | 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ | 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ | 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | | | |

自己評価および外部評価結果

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 地域の一員としての気持ちを持って生活している。散歩などでも気軽に声掛けをして親しんでいる。ご近所も、季節のお花を見せてくれたり、畑で出来た収穫物を分けて下さる等何かにと心遣いをして下さる関係性がある。利用者が日々、笑顔で過ごせる係わりを重視しています。 | 理念を踏まえた標語が玄関真正面に大きく掲示され、常に確認できる様になっている。「ゆっくり」「たのしく」「いっしょに」との簡潔な言葉は、日々のケアの基本として実践につなげている。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 袖ヶ浦市で開催の公民館行事やグランドゴルフ大会・敬老会などに参加したり、袖ヶ浦公園・JA祭りなどに出掛けて地域の方々と交流する機会をもっています。 | ホームのお祭りには近隣住民にも声をかけ、利用者家族も含め多くの参加者で行われた。ボランティアによる和太鼓演奏等もあり楽しんでもらった。また、地域の行事にも積極的に参加している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | ご近所の方々はお会いしたり、会話の中で認知症の理解が進んでおります。又出掛けたりお買い物などで、他の方々とお話したりもされることで、毎年少しずつ理解が進んでくださるようと思っております。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2か月ごとに開催しており、利用者の状態を毎回お伝えしております。そこでの理解から、要望や疑問質問なども出てきており、施設のケアの質の向上につながっております。 | 年6回運営推進会議を実施し、利用者の状態やサービスの現状を伝え、参加者と意見交換を行っている。介護事例を利用したりして議題にも工夫をしている。 | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | 毎月、市の相談員が来所しております。利用者の状態を見て頂き、意見交換しながら協力関係を保っております。 | 市の介護相談員を受け入れ、月2回利用者とは話をしてもらっている。その中で把握した相談事や聴き取った内容はケアマネジャーと共有している。また行政主催の研修には職員が交代で参加をするようにしている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 施設内研修にて、身体拘束をしないケアを目指し、取り組んでおります。 | 日常のケアの中で、利用者の気持ちを押さえたり、無意識のうちに抑制するような言葉を発していないか、絶えず振り返り、拘束をしないケアに努めている。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 研修の中で再度何か虐待の項目に当たっているケアになっていないか、再確認しながら意識の再確認を行っております。 | | |

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 成年後見制度が施設内でも該当者が出てきており、ご家族の関心が高くなっている現状を認識しております。再度い気づける研修を行って行きたいと思います。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入所の契約時十分説明しております。その後の疑問や質問も随時受けるよう伝えております。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 見学や定期的面会のご家族や受診同行されるご家族などおります。その際率直な意見を言って下さいますので、ケアの質向上の意見として受けて今後に繋げております。又、2か月に一回の運営会議の資料を各家庭に配信しています。 | 家族が来訪した際は、利用者の日常生活を報告し、要望や意見を聞いている。利用者からは献立の希望やドライブの要望が出ることもあり、サービスに反映している。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 施設の代表が朝の申し送りの際、出席することでその場での意見交換が出来る事と管理者を通して意見が斑されております。 | 朝の申し送り時などに職員の要望や意見を聞いている。職員の意見から、現在、居室の手すりの設置やフローリングへの改修などを検討している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 施設で働く職員が一体となって経営の健全化と満足感のある職場を目指すを基本方針としている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 施設内研修やカンファレンスの充実を図りながら共有したケアが出来る様に日々努力しております。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 地域密着の施設の認知症の勉強会があり、参加させて頂いたり、他の自業所との交流や勉強会をも再度行って行きたいと思っております。 | | |

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所の段階では納得してサービスを受けられる方とどうしても納得できないと、自宅に帰る等の行動を起こす方と居ります。その際はケースによりその方が安心して過ごされるようにお話を聞きながら、納得されるまで対処していく方向で関係性を築いております。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | ご家族よりよりの不安な点や要望は、速やかに対応しております。ご家族自身からの要望を遠慮されている方には、成るべく面会をお願いしたり、認定調査時の場を借りてご家族と意見交換しながら関わりを行っております。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入所の段階では心身の状態を観察しながら、精神的支援や身体的支援がその他に何が必要なのか見極めながら対処しております。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 心身の障害があってもここでの生活はお仲間の方が寄り添う関係も見られますので、お互いに影響し合う関係が出来る様にその方に合った生活が円滑に行われる支援をしております。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | ご家族は入所されても関係性を持つと面会や受診又は定期的に利用者を自宅に帰って時間を過ごして頂く時間を取っている方が居ります。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 面会はどなたでも、宗教も問わずに制限しておりません。 | 友人や近所の方が利用者に会いに来ている。職員の認識が無い来訪者には、利用者の同意を得てから通すようにしている。利用者がこれまで馴染んできた場所にはドライブで出かけるなどしている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | それぞれの関係性の把握に努めながら、良い状態が保てるように努めております。 | | |

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービスが終了しても相談に応じる体制でおります。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | それぞれの一日の過ごし方は無理のないペースで生活されるように、個々の姿勢を尊重しております。それぞれの思いでレクリエーション活動や外出、散歩、お友達同士との交わりなどを見守っております。 | 利用者が思っていること、希望することなどは、入浴やトイレ介助、居室での一对一のケアの時に聴くことが多い。それを個別記録に記入し、情報の共有を図っている。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | 入所時に情報収集すると共に入所されてからご本人やご家族との会話よりその人のありし姿の把握に努め日々のケアに反映されるようにしております。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 申し送りやカンファレンス会議、にて状態把握に努めながらケアしております。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 本人の状態、ご家族の希望、チームケアでの意見を取り込みながらプランを作成し、実施内容を見直しのプラン作りに生かしている。 | 介護計画は事前に得た家族の意向や現場スタッフからの意見や気づき、様々な記録などをもとに利用者一人ひとりのニーズを把握し作成している。計画は6ヶ月に一度、急な状態の変化にはその都度見直しを行っている。ケアマネジャーは着任したばかりであり、今後、利用者とのコミュニケーションが深まることを期待したい。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 実施した結果によってプランの計画を見直している。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | ご本人の状態やご家族の意向によって、支援の在り方を模索している。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|---|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | ボランティアセンターの活用は多きい資源となっている。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 健康管理は隔週で主治医に往診で頂いていますので、身体変化が見られた時には受診して退所しております。入所前からの他の主治医の方に於いては継続して健康管理して頂けるように連携を図っております。 | 利用者の主治医はホームの提携医になっているが、糖尿病や透析の利用者は今までのかかりつけ医に受診しており、通院はホームで支援している。受診後は電話で家族に状況を報告し、情報の共有を図っている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 看護職員が常勤であり、状態の変化に対応しております。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 利用者の入退院はご家族と連携しながら、退院の際には退院に向けて調整を図っております。早期退院に向けても調整しております。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 重度化に向けた看取りの方針を入所時に提示しております。利用者やご家族が安心して終末期を迎えられるように、取り組んでいます。 | 契約時、家族等に重度化した場合のケアや看取りの指針を説明し、同意を得ている。時間の経過とともに家族の気持ちに変化が生じることもあるが、医師や看護師、職員が連携し過去に3人を看取っている。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 消防署の協力を得て年1回の普通救命講習の研修に参加しております。日中や夜間に於いても緊急の対応が出来る様に、全職員意識を高めております。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 消防署立ち合いの防災自衛訓練を年1回と施設内防災訓練で、年2回行っております。防火管理者のもと防災計画書を作成して行い、災害に対してヘルメットや伝統など備えてる。部屋のもの高い所の置かない等をさらに徹底して行く方向性を検討している。 | 消防立ち合いの防災訓練では、避難訓練の他、当日勤務の職員による消火器の訓練も行っている。実施後に消防署員から全ての確認を大きな声でするよう指導があり、次回に活かそうと話し合っている。備蓄品は水、缶詰、ライト、ヘルメットなどを準備している。 | どんな災害がいつ起こるか分からないため、いざという時に慌てずに行動できるよう、夜間も含め、様々な場面を想定した訓練が必要と思われる。また、近隣との連携についても手順を踏んで進めることが期待される。 |

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 成るべくご本人を傷つけないように言葉の面や対応に気を付けながら、プライバシーに配慮したケアを心がけている。 | 言葉かけや一つひとつの関わりは、利用者を尊重した対応に心がけている。また、浴室、トイレは介助時にはドアを閉め、居室に入る時にノックをするなど、プライバシーに配慮している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 利用者が何らかの訴えが見られた時には、ゆっくり聞いていくように、訴える事が出来ない時には行動や状態を見ながら、非言語的表現をくみと退所していく。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 一人一人の状態に合わせて対応しております。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 服装の好みや、理美容面に於いても本人の好みを優先しております。又、ご家族の支援もありますので、良い状態を保っております。週一回カットボランティアさんが来所しております。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事は皆様の一番の楽しみですので、希望を取り入れていくようにしており、一緒に台所に立つなど有する能力に於いて、引きだしております。 | ダイニングキッチン是对面式になっており、職員は利用者とコミュニケーションを取りながら調理している。材料の下ごしらえ、味付けなどに参加する利用者もいる。誕生日には本人の希望のメニューを提供している。また、バーベキューや外食なども取り入れ、食事が楽しくなるよう支援している。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 個々の状態を記録し、そこから過不足のないように確認しながら行っております。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 朝晩の支援が入りますが、個別の能力に合わせて行っており、日中は個人の自覚に任せております。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄状態を確認し、個別の援助形態を実施しております。認知症の面が強く抵抗や拒否が有る方がおり、中々ご本人の状態と気持ちに添うように計画し実施しておりますが、ご本人の思いの強さに、介護の難しさを感じております。 | 日中はトイレでの排泄を基本としており、本人の排泄のパターンをもとに定時誘導を行っている。就寝前に全員の排泄支援をし、夜間はその人に合わせて対応している。ホームでは夜はぐっすり眠れるよう日中の活動を増やすように努めている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 便秘改善の為、食事や散歩・体操などの活動に取り組んでおりますが、どうしても便秘改善が出来ない時があります。便秘薬の服用で対処しております。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 週2回の入浴介助を行っております。その中で、女性利用者で仲の良い人同士で入浴されている方もおります。 | 入浴は基本的に週2回であるが、これ以外に、希望に応じて併設しているデイサービスのお風呂を使用する事も可能である。浴槽は檜で香りも楽しみの一つとなっている。また、仲の良い利用者同士が2人で入浴を楽しむこともある。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 個別の時間を大切にしておりますが、1日の中で、皆さんと一緒に活動に参加して気分転換や会話などして頂けるように声掛けを行っております。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 身体の既往や薬など表にしたものを常に置いております。薬の変更は日々の申し送りで徹底できるようにしております。身体状況の変化を個々の看護記録に記載し何時でも見られる様にしております。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 毎日のレク活動に参加して頂いたり、外気に触れえたり、ご家族と外出したりのたのしや気分転換を計って頂くように、支援しております。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 年間で大型バスもしくは、7人位乗車できる車を使って出掛けております。成るべく季節ごとに外出するようにしております。 | 夏は夕方の涼しい時間帯、冬は晴れた日に外で日光浴をするなど、できる限り外気に触れる機会を作っている。また、近くのスーパーマーケットに数人で出かけたり、季節ごとにみんなで揃って出かける取り組みもしている。 | |

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | お金の管理は殆どの方は出来ませんので、行っておりません。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 電話がかけられるように希望が見られた時には、その方の能力に応じて支援を行っております。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 清潔を心がけ、こまめな清掃と明るさを大切に環境設定をしております。季節ごとの空気の循環や湿度管理にも配慮しながら、健康を維持しながら良い空間で過ごすことを心がけております。 | 玄関からリビングにつながる廊下は長く、拭き抜けになっており、歩行訓練にも利用されている。リビングは既存棟やデイサービスの利用者と共に体操やカラオケを楽しむことにも利用されている。各テーブルにはこの時期の花であるポインセチアを飾り、季節が感じられた。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 皆さんと集う空間でもあり、お一人でも過ごせる空間としてのリビングにもソファを置いて誰でもくつろげる様設置してます。廊下にもソファがあり、そこではゆったりとくつろぐ事が出来る居場所になっております。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | ご本人やご家族の意向が反映された部屋作りとなっております。又今の使い慣れたものを用意し安心感のあるお部屋となっております。 | 居室は利用者によって様々であり、整理整頓が行き届きすっきり片付いている部屋、少々乱雑でも落ち着いて過ごせるような部屋など、利用者の思いを尊重した部屋作りがされている。それぞれ馴染みの道具が持ち込まれていた。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 玄関も外はスロープに、中は段差なくスムーズに足運びが出来る様に作られております。手すりを用いて成るべく、自立した生活が営めるように、各所に配置しております。 | | |